

第1回 小牧市立味岡中学校改築協議会 議事録

【日時】

平成22年12月20日（月）午後2時から午後4時

【場所】

味岡中学校 3階 多目的室

【出席者】

委員（11名）

成田委員、坂廻辺委員、横井委員、篠田委員、前田委員、山岸委員、
今枝委員、落合委員、後藤(孝)委員、後藤(幸)委員、兼子委員

事務局（4名）

中嶋部長、西尾次長、西尾課長補佐、笹尾主事
コンサルタント（2名）

【傍聴者】

なし

【次第】

- 1 あいさつ
- 2 委員自己紹介
- 3 改築の経緯等及び当協議会開催趣旨説明について
- 4 会長及び副会長の選任について
- 5 協議会の公開の有無について
- 6 協議事項 ①改築協議会の開催
②現在の味岡中学校施設の概要
③現地確認
④アンケート調査の実施
- 7 その他 事例紹介
次回協議会の日程について

【議事（6 協議事項 ①、②）】

委員

現況施設状況に示された教室棟（南側）からプールまではI s値が示されていないがこれらも改築するのか。

事務局

阪神淡路大震災の被害データからS56以前に建てられた建物に相当の被害があったことが分かったことから、新耐震基準でS57以降に建てられた建物

は安全であろうと判断されている。I s 値 0.6 以上は安全とされているが、おそらく全面改築になろうかと思う。

委 員

屋内運動場は I s 値が 0.99 となっているが改築するということで良いか。

事務局

改築することとなる。

校舎、体育館は全面改築を行うが、プール等は配置計画、予算を考慮しながら改築するか検討をいただきたい。

会 長

全国的に見ても、I s 値が 0.6 に満たない場合は、改築を急がなくてはならない。

今後、改築することは財政上困難であると思うので、配置上や予算上の問題がなければ耐久年数が残っている建物についても改築するが多い。

委 員

仮校舎を建設しないで新校舎を建設するということは、現在校舎のある場所とは別の場所に改築するという理解で良いか。

会 長

私もそのような理解である。

【議事（6 協議事項 ③、④）】

会 長

現地確認の感想として、生徒諸君が非常に落ち着いているということ、また、限られたスペースを関係者の工夫で上手く使われているということを感じた。

学 校

アンケートについてはこれで良いと思うので、足りない部分等あれば教えていただきたい。

委 員

生徒アンケートの設問 5 選択肢に「図書館」がないので追加して欲しい。

委 員

現地確認をした印象では、③～⑦の耐震上問題ないという建物についても全面的に改築が必要だと感じた。

会 長

私も同感。予算の範囲内ではあるが、思い切って建て替えることを念頭に再配置を考えるべきだと思う。

委 員

近隣の方々へのアンケートは考えているか。

コンサルタント

校区の青少年健全育成会のメンバーが80名程度おられるとのことで、地域の代表としてアンケートを実施する予定。

学 校

卒業モニュメントについては、正門付近に設置されているが、それ以外の場所には点在していない。

会 長

南館壁面のタイル絵は残してあげたい。

学習形態に直結した内容が足りないように思う。

生徒同士がゆっくりと語り合えるスペースなども検討してはどうかと思う。

教員用アンケートでは、特別教室型や教科教室型の教室配置についても考えてもらえるよう選択の幅を広げてはどうか。

委 員

普通教室、特別教室は最大で何部屋程度必要となるのか。

学 校

生徒数の推移からみると平成31年～32年に生徒数が最大となり、35人編成で考えれば25学級が必要となる。

特別教室については、音楽室2室、理科室2～3室、大きな図書館やパソコンルームと兼ねたメディアルーム、被服室1室、調理室1室で良いかと思う。

会 長

他事例では、普通教室に可動式のパーティションを設置するなど、無駄な空き教室をつくらない工夫がなされている。

アンケートは会長預かりとして一任いただきたい。

学 校

教職員には、アンケート内容だけでは表面的なので、各自がどのような学校にしたいか考えてもらえるよう、別途、時間を設けたいと考えている。

委員

私は本庄小学校区に住んでいるが、本庄小学校では教室を住民に開放してパソコン教室などが行われている。味岡中学校は、今後の見通しとして最大25教室がいるとのことで、今回改築すれば50年、100年は建て替えることはないと思うので地域住民への開放も考慮した設計として欲しい。

会長

市民開放は大切なこと。他の地域では図書館を住民に開放する事例や、京都では養護老人ホームと併設した例もあるなど、さまざまな工夫がされている。

委員

校歌に歌われる「赤い屋根」や「緑」についても考えながら検討をした方が良いのか。敷地内に緑が少ないように思う。

会長

生徒はもちろん地域、保護者にとっても良い学校にするために、「緑」や「赤い屋根」なども意識して検討すべきだと思う。

他地域では、地域の願いや想いを形にする事例もある。地域のシンボルとして旧校舎の階段部位を残して活用したケースもある。

目黒中学校、大洗町立南中学校、福井至民中学校などが参考となるのではないか。

以上